

アスベスト分析のご案内

【分析方法】

定性分析：JIS A 1481-1法(偏光顕微鏡法)及びJIS A 1481-2法 (X線回折法及び位相差・分散顕微鏡法) のどちらの分析方法にも対応しております。

定量分析：規制対象となっている6種類のアスベストについてJIS A 1481-3法 (X線回折法) の分析方法で対応しております。



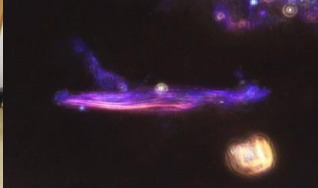

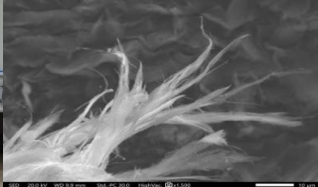

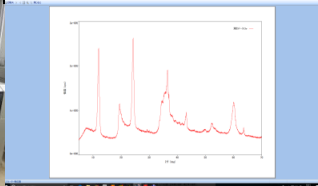
【分析技術者資格】

- ・公益社団法人 日本作業環境測定協会の石綿分析技術評価事業
X線回折分析法及び位相差分散顕微鏡法を併用した定性分析(JIS A 1481-2関係)Aランク:1名
X線回折分析法による定量分析(JIS A 1481-3関係)Aランク:1名
- ・環境計量士 (濃度関係) ・第一種作業環境測定士

【納期について】

- ・弊社では、現在約6営業日で速報報告をしております。
更に急ぐ必要がある場合、お打ち合わせにて納期設定をさせていただきます。

【分析機器】

機器名称	メーカー (型式)	保有台数	装置	使用例
実体顕微鏡	ニコン (SMZ745)	1台		予備観察及び 前処理後の観察
位相差顕微鏡 偏光顕微鏡 (使用例：位相差分散顕微鏡 法により観察したクリソタイル) 浸液の屈折率1.550	ニコン (LV-UDM)	2台		
走査電子顕微鏡-エネルギー分散型X線分析装置 (SEM-EDS) (使用例：クリソタイル ×1,500倍)	日本電子 (JSM- IT200)	1台		
X線回折装置 (使用例：クリソタイルの X線回折パターン)	リガク (UltimaIV)	1台		

※建材中の石綿分析において石綿の確認が難しい場合、SEMによる分析を実施致します。
また、環境大気中のアスベスト繊維数濃度測定において位相差顕微鏡法による測定結果が
1f/Lを超過した場合に実施する分析走査電子顕微鏡法(A-SEM法)にも対応しております。

建築用仕上塗材の層別分析等、価格全般につきましては、検体数等に応じてお見積りを
させていただきますので、お気軽にお問合せください。

【お問い合わせ先】

株式会社再春館安心安全研究所 三浦・吉森 〒862-0924 熊本県熊本市中央区帯山4-17-1
※HPもございます TEL:096-385-1222 FAX:096-385-1221